

局地災害対応訓練の概要

目的

近年、多発する豪雨災害や多重事故等の局地災害に備えて、消防機関と医療機関の連携を図り、京都府の災害医療体制を強化することを目的とする。

実施日

令和3年11月24日（水）～12月15日（水）の午前中

実施方法

京都府救急医療情報システム（京都健康医療よろずネット）の緊急搬送要請登録により、消防機関が医療機関宛てに局地災害を発報し、消防機関と医療機関で災害概要の共有、傷病者の受入情報の入力を行う

※ 各消防本部（局）が少なくとも1回は発報

実施対象

災害拠点病院、救命救急センター、二次救急医療機関

訓練想定

傷病者15人以上の多重事故が発生し、救急隊が救助中

※ 今回の訓練では、医療機関は被災していない想定

局地災害と広域災害

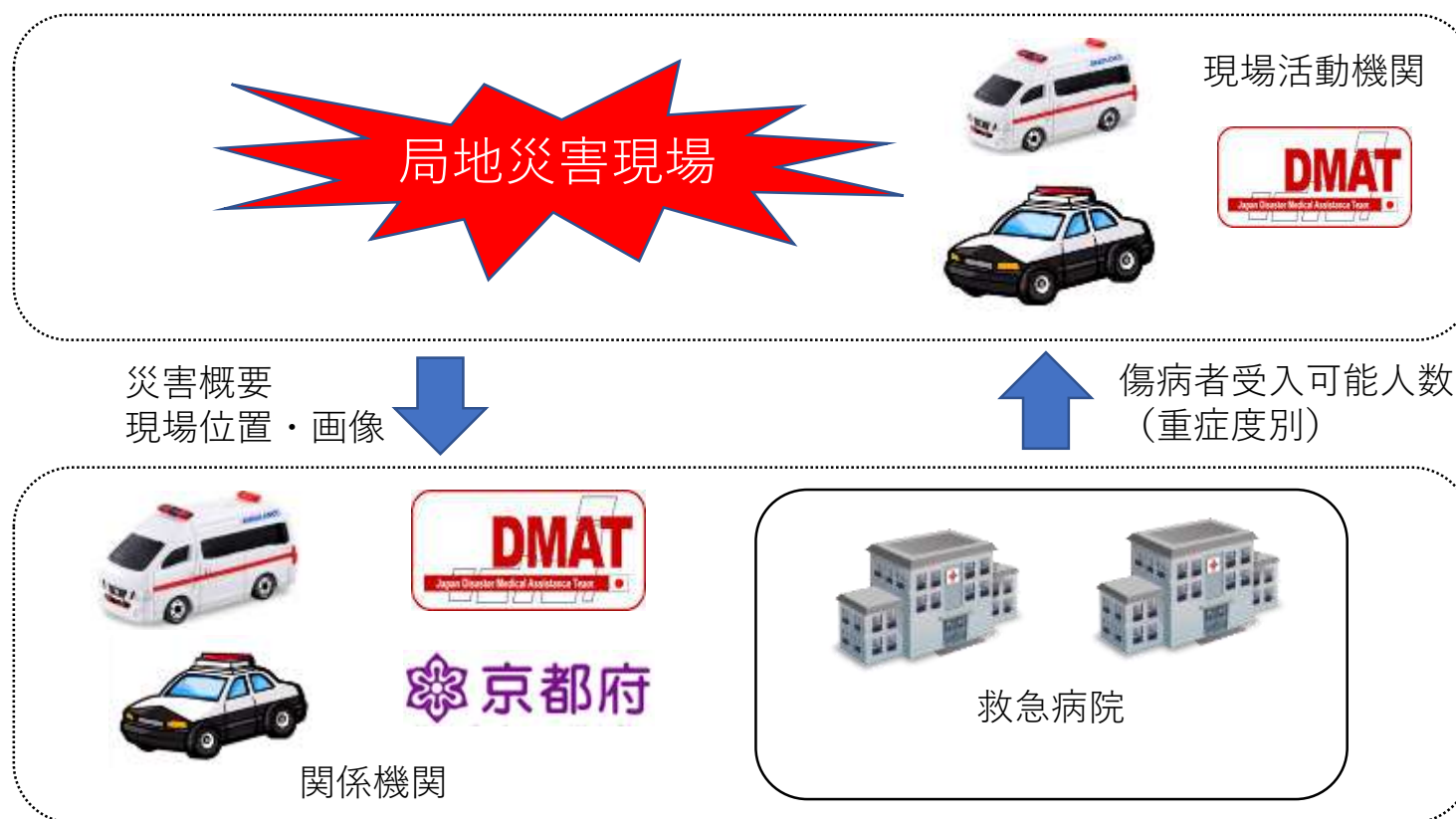
今回の訓練

	局地災害 例：集団救急事故（交通、爆発等）	広域災害 例：地震、津波、風水害
規模	地域が限定的	複数の地域・都道府県に跨る
覚知	被災者等の連絡なしでは 覚知が困難	体感が可能
初期 対応	消防・警察が事故対応	災害対策本部で調整 ・被災状況の収集 ・支援人員、物資等の配分調整
支援	外部からの支援可能 DMAT派遣や傷病者受入	被災状況により支援に時間を要し、 支援人員・物資が限定的
情報	発信機関・地域が限定的 対応機関間の迅速な情報共有が求 められる	情報収集に時間を要する 被災状況の全容把握が必要

緊急搬送要請登録について①

概要

- ・平成27年の京都健康医療よろずネット（京都府救急医療情報システム）改修時に、局地災害発生時の情報共有機能として追加
- ・局地災害を覚知した消防機関等が、医療機関へ災害概要を連絡
- ・連絡を受けた医療機関が、受け入れ人数等を京都健康医療よろずネット上で入力
- ・消防機関等は、医療機関が入力した情報をもとに搬送先を選定



緊急搬送要請登録について②

※ 消防機関発報後の
医療機関の対応



①メール受信の確認

- ・メール通知アプリが鳴動し、「メールが届きました」という音声アナウンスが流れる
- ・「メールアプリを開く」をクリック

差出人: ●●@kyoto.qq-net.jp
送信日時: 2021年●月●日 ●:●:● (UTC+09:00) 大阪、札幌、東京
宛先: ●●@qq.pref.kyoto.jp
件名: [Qq26_kml90000005 ●] No.99-1で緊急搬送要請登録が行われました。

<災害概要>

...

②災害概要のメールを確認

- ・災害概要 爆発事故
- ・要請内容 傷病者数 15名前後
傷病程度 赤：3名 黄：不明 緑：5名
- ・伝達内容 京都市上京区●●町の●●ビルで爆発事故。
多数傷病者がいる模様。救助活動中。

緊急搬送要請登録について④

※ 消防機関発報後の
医療機関の対応

緊急・災害情報照会

- [医療機関状況検索](#)
- [医療機関状況モニター](#)
- [災害地図検索](#)
- [広域災害救急医療システム](#)



⑤医療機関の入力状況を確認

- ・ 京都健康医療よろずネットの「緊急・災害情報照会」にある「医療機関状況モニター」をクリック
- ・ 自機関だけでなく、他機関の入力状況を確認

災害拠点病院															
医療機関名	患者の受け入れが困難	倒壊・倒壊の恐れ有り	受入人数限界超過	ライフライン使用不可	その他有り	受入可能者 外傷患者			受入可能者 疾病患者			府民向け診療可能	府民向け透析可能	連絡事項	更新日時
						重症	中等症	軽症	重症	中等症	軽症				
	-	-	-	-	-	2	10	30	2	10	30			訓練	2016/7/22 15:33
						2	5	15	2	5	15	○	○		2016/7/22 16:25
	-	-	-	-	-	3	3	3	2	2	2			訓練	2016/7/22 15:58
						5	20	0	5	20	0	○	○		2016/7/22 15:53
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
合計						12	38	48	11	37	47				

令和3年度局地災害対応訓練の結果

医療圏	要請先	要請後15分以内の入力率	要請後30分以内の入力率
京都市・乙訓	65	31.9%	56.9%
山城北	13	28.2%	38.2%
山城南	3	0.0%	83.3%
南丹	5	50.0%	100.0%
中丹	7	14.3%	28.6%
丹後	4	50.0%	100.0%
府全体	97	29.1%	67.8%

※訓練日ごとの入力率を医療圏ごとにまとめて平均し算出

※要請後15分経過してもよろずネットに入力がない場合は、消防から病院へ状況確認（催促）の連絡

※消防から病院へ状況確認（催促）の連絡前に病院が入力する場合あり

※いずれの日程でも基幹災害拠点病院の京都第一赤十字病院に要請（入力数にはカウントしない）